



# Inona ny vaovao?

イヌナ ニ バオバオ?  
何か良いことあった?

マダガスカル 青年海外協力隊 通信 第22号 (2019/8/28) 福長 輝倅

## 今回のテーマ; ザンビア! 子供の絵からわかるザンビア事情。

福長 輝倅 (FUKUNAGA TERUYUKI)

隊次: 2017年度2次隊

活動国: マダガスカル

赴任地: アンズルベ

(首都から約3時間)

職種: コミュニティ開発

前職: 教師(非常勤/社会科)

出身: 岡山県・岡山市



マダガスカルってどんなところ?

公用語: マダガスカル語・フランス語

人口: 約 2500 万人 (日本の5分の1ほど)

国土: 587, 000 km<sup>2</sup> (日本より大きい!)

首都: アンタナナリボ

宗教: キリスト教及び伝統宗教、

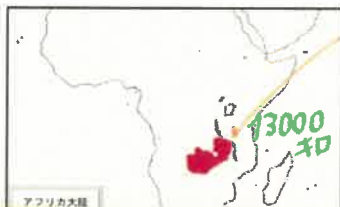
少数派イスラム教

民族: 約 18 部族



### ① ザンビアってどんなところ? - 肉に耐える胃袋と英語が必要な国 -

タンザニアに行ったあとは、ザンビアへ。まずは簡単にザンビアってどんなところ?



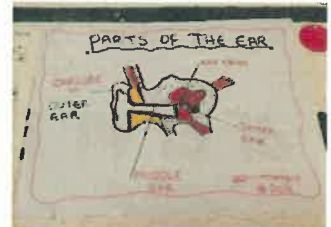
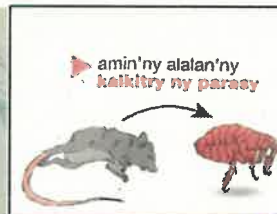
①携帯電話と 10 円がザンビアと仲良し? ;  
ザンビアでとれる「銅」が日本の 10 円、「コバルト」というレアメタルは「携帯電話」に使われているらしい。日本の生活とザンビアの意外なつながり。

②朝肉、昼肉、夜肉; ザンビアのご飯は肉ばかり。ステーキ肉にフライドチキン、チキン煮込み。戦え、俺の胃袋。

③いろんな言葉があるから英語で喋ろう; ザンビアにはたくさんの民族の言葉がある。なので、共通で話すときは英語が必要。ガソリンスタンドのおじちゃんも、僕より英語が上手。

### ② 学校で子供が描いた絵から見えるザンビア - タイコと携帯電話は一緒? -

ザンビアではたくさんの学校を見てきましたが、子供たちの絵がおもしろい。子供たちの絵から見えるザンビアとは?!



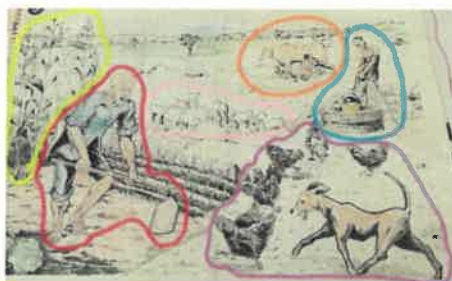
①体の説明での違いは?? ; 左の絵は体の部分をザンビアの言葉で説明している。体の説明は日本と一緒に、あれ? 髪の毛が短い。ザンビアの学校では男の子だけでなく、女の子も髪を短くしていました。

②注意! この生き物は病気を運んでくる; 左の絵はゴキブリかな? いや、ゴキブリじゃない。これは、「マラリア」という怖い病気を運ぶ「蚊」の絵。ザンビアでは「マラリア」に注意するために「蚊」の絵(左)。マダガスカルは「ペスト」を運ぶ「ネズミ」の絵(右)。

③よく見る体に関する説明; マダガスカルの教室でもよく見かける体の一部分の説明。ザンビアでは「耳」「心臓」「腕」を発見。外国語で勉強、しかもまだ小学校。アフリカは体が特に大事なのかな?



④家族にも特徴が?! ; これは家族の絵。左はお母さん。民族衣装を着て、頭には何かを巻いている。真ん中はおじいちゃん。さすがアフリカ、真っ赤なスーツ。一番右はおばあちゃん、お尻が大きい、アフリカではお尻が大きい方がモテる。



⑤農業が丸わかり ; この絵でザンビアの農業がよくわかる。左のおじさんはたくましく土を耕している。その後ろに主食のトウモロコシ。一人の男は井戸で水を汲み、遠くで女性が牛の乳しぼり。周りには牛とコトコトを狩る犬が。



⑥さすがザンビア動物の絵がすごい ; 絵から分かるザンビアの動物はすごい。左上からシマウマ、サイ、カバ、キリン、ゾウ、チーター。マダガスカルなら、牛、サル、クジラ、カメレオン。全然違う笑



⑦独立した後の大統領たち ; 日本で総理大臣の顔を小学校で描くなんて絶対ない。ザンビアでは独立した後の大統領たちの顔が描いてある。顔や髪型を描き分けて見事なもの。一つ分かるのは、皆シャツの色が派手。



⑧バスと列車にザンビアらしさ ; 左が子供描いた移動手段の絵、右は実際の写真。左上はバス、特徴は前に耳みたいなミラーと車体にシャロン(SHALOM)の名前。左下は列車、タンザン鉄道というタンザニアとザンビアを結ぶ列車、めっちゃ強そう。



⑨なそのコミュニケーションの絵 ; この絵は僕が一番のお気に入り。この絵はコミュニケーションの手段の絵。左上が電話、左中がタイコ、右上が会話、左下が手紙、左中が笛(フルート)、右下が携帯電話。タイコと笛がコミュニケーションの手段? それと携帯電話が同じくり。

③ 教室で見つけたザンビアの良さ — いいね、ザンビア —



⑩ノートのカバーは?? ; ノートのカバーがなんとスーパーの広告。スーパーの広告があることにもびっくり、使い方もびっくり。



⑪タイヤなんて気にしないよ ; 一生懸命勉強する子供の横にでっかいタイヤ。トラックのタイヤ。そんなの気にせず勉強勉強。



⑫床も使ってみんなで勉強 ; 先生の周りにはたくさんの子供たち。床で教えているのはモノを使って勉強しているから。いいね!

④ 初出場でアフリカ8位のマダガスカルサッカー — 牛のポーズが大流行? —



最後に、先日行われたサッカーアフリカ選手権の話。マダガスカルのチーム「Barea(牛)」は初出場でアフリカ8位の成績。この大会を僕はなぜかマダガスカルではなくタンザニアとザンビアで見ました。ザンビアなど大陸の国の人にとってマダガスカルは「島国」、近いイメージがないらしい。ザンビアでの試合観戦では、コンゴ対マダガスカル。マダガスカルを応援するのは僕一人で、あとは皆コンゴの応援。写真のように、ゴールを決めたあとは牛の角に見立てたポーズ。マダガスカルといえばやっぱり牛。